

FGI

FinTech Global Incorporated

*The firm of innovative financing*

フィンテック グローバル株式会社

第 18 期

中間 事業報告書

2011.10.1~2012.3.31

## 企業育成という社会的使命の 実現を通して、本物の金融業としての 永続的な成長を目指しています。

2012年9月期上半期において、当社グループは実体経済を支援する「企業・事業投資」を主軸に事業を展開いたしました。残念ながら子会社に関わる特別損失を計上し、四半期純損失となりましたが、FinTech Gimv Fund, L. P. (FGF)の投資案件で初めてエグジット(株式売却等による投資回収)するなど、「企業・事業投資」を核とするビジネスは前進しつつあります。

当社が成長性ある企業や事業再生案件に自己投資するプリンシパルインベストメント事業では、経営支援を通じて投資先企業が成長し、新規の優良な投資機会も増えつつあります。既投資案件における企業価値向上は、現時点においては決算数値に現出しておりませんが、今後、事業環境を鑑みながらエグジットまたは連結化等の判断を適切に行っていく、株主の皆様による成果を数字でご提示できるよう努めてまいります。

アセットマネジメント事業においては、FGIキャピタル・パートナーズ(株)がグローバルマクロ運用とベンチャー投資運用において成功報酬収益を当上半期に計上できず、また投資運用業界全体に影響を及ぼしたAIJ投資顧問の問題も重なったことで、同社株式にかかるのれんの一括償却の計上に至りました。これに対応して下半期に入り同社の経営体制の刷新に着手し、不調ファンドのリストラや新規設定ファンドの育成等によって立て直しを図り、新規の運用受託先を開拓していく所存です。

当社グループは、「企業を育て社会に貢献する」という社会的使命の実現を通して、本物の金融業としての永続的な成長に向けて努力を続けており、そのための組織と人材は確実に「地力」をつけています。さらに会社の「中身」を高めながら、必ずや再成長を実現すべく、役職員一同鋭意邁進してまいります。皆様には引き続きご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

2012年6月  
代表取締役社長

玉井 信光

# 企業をサポートするブティック型 投資銀行として、成長・再生分野を中心に、 企業・事業投資を進めています。

実体経済を支える成長企業に対し、企業価値を高める投資を実行します。

中堅企業への経営参画、企業再生、ベンチャー育成、資金調達アレンジ等の業務を通じて企業投資を加速。  
一方で、これを相互補完する投資運用受託の拡充を図り、投資家市場におけるプレゼンスを高めています。

## FGS

フィンテックグローバル証券

### 証券

財務アドバイザー、  
ファイナンスアレンジによる  
資金調達支援

グループ全体の営業開発部門として  
「企業・事業投資」案件を発掘し、顧客層の  
拡大にも努めています。

## FGI

フィンテックグローバル

### プリンシパル 投資

潜在性・将来性豊かな企業の成長を  
捉えた直接投資

投資先企業への  
経営コンサルティング等による  
企業価値向上

当社の投資先企業は、着実に企業価値  
を高めており、新規の優良な投資機会も増  
加しています。

## FAM

フィンテックアセットマネジメント

## FGICP

FGI キャピタル・パートナーズ

### 投資運用

不動産や有価証券などを  
対象とした、独自性ある  
投資運用受託

厳格なコンプライアンス態勢と投資家  
のニーズにあったファンドの組成、運用に  
より、年金基金や事業会社等からの運用  
資産残高の拡大に努めています。

## 投資、経営指導で企業をサポート。 企業成長を捉えた投資で企業価値を高めています。

環境、エネルギー関連や海外または日本へ進出しようとする企業への投資、事業支援ニーズは高く、事業再生をめざす企業からの引き合いも継続しています。これらの企業を資金面からだけではなく、人材や経営戦略策定、海外ネットワーク構築などにおいても手厚くサポートし、投資先の企業価値を高めています。

### ポイント1：投資銀行事業：安定収益を確保、今後は顧客層拡大に注力

●フィンテックグローバル証券(株)は事業会社への財務アドバイザー(FA)業務により一定の安定収益を確保しつつも、大型案件の減少により、前年同期比で売上高は減少しました。下半期はFGIグループの営業開発部門として、企業・事業投資案件及び投資家の確保に向けて、①事業再生案件に係るFA業務、②中堅デベロッパーにニーズが高い開発型のファイナンスアレンジ、③DPO(Discount pay off)を用いた事業再生アレンジ、④(株)パブリック・マネジメント・コンサルティングとの協働による環境配慮型エネルギー事業に注力して顧客層の拡大を図ります。

### ポイント2：プリンシパルインベストメント事業：投資先企業の企業価値が着実に増大

●当社が行うプリンシパル投資は当社グループ内外で見出される投融资機会に対して、厳選して資金拠出するとともに、投資先企業の企業価値向上に向けた経営支援を行っています。既投資先企業は順調に成長しており、今後は事業環境を見極めながらエグジット(株式売却等による投資回収)、持分法適用を含む連結化などにより、具体的な決算上での成果に結びつけるべく、適切な対処を検討してまいります。

### ポイント3：その他投資先事業：FinTech Gimv Fund, L.P.(FGF)は初のエグジット

●FGFは、投資先の創薬ベンチャー企業の株式売却益により、320百万円の売上を計上し、初のエグジットとなりました。

### ●2012年9月期上半期 セグメント別業績

(百万円)	売上高	営業損益	主な連結会社
投資銀行事業	119	△43	フィンテックグローバル証券
アセットマネジメント事業	124	△140	フィンテックアセットマネジメント FGIキャピタル・パートナーズ
プリンシパル インベストメント事業	730	169	フィンテックグローバル
その他投資先事業	575	225	ベルス、Crane Reinsurance FinTech Gimv Fund
公共財関連事業	118	△52	パブリック・マネジメント・ コンサルティング
合計	1,669	158	
調整額	△217	△322	
四半期連結損益計算書 計上額	1,451	△164	

### ポイント4：アセットマネジメント事業：FGICPIは経営基盤を再強化、選ばれる運用会社へ FAMは有望企業・事業を対象にした投資ファンドを設立、運営を開始

●FGIキャピタル・パートナーズ(株)(FGICPI)は当上半期中にはグローバルマクロ運用及びベンチャー投資運用による成功報酬収益を計上することができませんでした。また、AIJ問題により年金基金等が新規投資に慎重となり、運用資産残高の積み増しのペースが鈍化したことも鑑み、連結決算でFGICPIに係るのれん償却額126百万円を特別損失として計上しています。これを受けて、FGICPIは下半期に入り経営体制を刷新しておりますが、更なる運用資産残高の積み上げのため、投資家のニーズに合う市場環境の影響を受け難いファンドの運営、開発や、安心して投資していただけの厳格なコンプライアンス態勢の維持に注力してまいります。

●フィンテックアセットマネジメント(株)は既存アセットマネジメント案件のリファイナンス等による収益計上があったものの、大型案件があった前年同期に比べ、売上高は減少しました。第3四半期に入り、新たな事業の柱とすべく、有望な企業・事業への投資のためのファンドを案件毎に設立、運営する事業を開始しており、外部投資家からの運用資産残高の拡大を図ってまいります。

## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表

(単位 千円)	当第2四半期末	前期末
科目	(2012年3月31日現在)	(2011年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>5,887,962</b>	<b>6,656,212</b>
現金及び預金	2,579,580	1,804,161
売掛金	144,192	125,682
営業投資有価証券	2,263,448	2,002,744
販売用不動産	—	420,531
繰延税金資産	5,868	1,049
営業貸付金	2,702,579	2,707,235
未収入金	165,013	1,563,973
その他	63,854	122,286
貸倒引当金	△2,036,574	△2,091,453
<b>固定資産</b>	<b>801,682</b>	<b>1,026,282</b>
有形固定資産	162,952	169,408
無形固定資産	322,550	502,844
投資その他の資産	316,179	354,029
<b>資産合計</b>	<b>6,689,644</b>	<b>7,682,494</b>
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>970,995</b>	<b>1,176,541</b>
買掛金	55,601	24,356
短期借入金	40,000	55,000
一年以内返済予定の長期借入金	2,004	81,837
未払金	291,784	301,649
未払費用	30,380	54,312
未払法人税等	7,080	15,812
預り金	490,707	490,755
賞与引当金	29,448	26,251
その他	23,989	126,567
<b>固定負債</b>	<b>1,345,104</b>	<b>1,635,063</b>
長期借入金	4,155	45,157
繰延税金負債	80,991	74,123
退職給付引当金	92,529	86,097
保険契約準備金	1,157,180	1,286,699
その他	10,248	142,985
<b>負債合計</b>	<b>2,316,100</b>	<b>2,811,604</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>3,355,329</b>	<b>3,936,656</b>
資本金	2,312,517	2,312,384
資本剰余金	5,183	5,183
利益剰余金	1,090,041	1,671,501
自己株式	△52,412	△52,412
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△137,060</b>	<b>△179,872</b>
その他有価証券評価差額金	△4,259	△629
為替換算調整勘定	△132,801	△179,243
<b>新株予約権</b>	<b>17,592</b>	<b>18,091</b>
少数株主持分	1,137,682	1,096,015
<b>純資産合計</b>	<b>4,373,544</b>	<b>4,870,890</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,689,644</b>	<b>7,682,494</b>

### 四半期連結損益計算書

(単位 千円)	当第2四半期累計	前第2四半期累計
科目	(2011年10月1日から 2012年3月31日まで)	(2010年10月1日から 2011年3月31日まで)
<b>売上高</b>	<b>1,451,922</b>	<b>4,977,518</b>
<b>売上原価</b>	<b>641,890</b>	<b>2,119,333</b>
<b>売上総利益</b>	<b>810,031</b>	<b>2,858,184</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>974,168</b>	<b>1,066,748</b>
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>△164,137</b>	<b>1,791,436</b>
<b>営業外収益</b>	<b>29,393</b>	<b>6,747</b>
<b>営業外費用</b>	<b>4,255</b>	<b>40,876</b>
<b>経常利益又は経常損失(△)</b>	<b>△138,999</b>	<b>1,757,307</b>
<b>特別利益</b>	<b>1,051</b>	<b>367,722</b>
<b>特別損失</b>	<b>161,113</b>	<b>271,950</b>
<b>税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)</b>	<b>△299,061</b>	<b>1,853,079</b>
<b>法人税等</b>	<b>7,904</b>	<b>39,184</b>
<b>少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)</b>	<b>△306,965</b>	<b>1,813,894</b>
<b>少数株主利益又は少数株主損失(△)</b>	<b>155,329</b>	<b>△21,417</b>
<b>四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	<b>△462,295</b>	<b>1,835,311</b>

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 千円)	当第2四半期累計	前第2四半期累計
科目	(2011年10月1日から 2012年3月31日まで)	(2010年10月1日から 2011年3月31日まで)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,215,641</b>	<b>2,597,766</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>105,952</b>	<b>△245,690</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△478,676</b>	<b>△922,002</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>25,318</b>	<b>△2,989</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>868,235</b>	<b>1,427,083</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>1,711,345</b>	<b>829,661</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>2,579,580</b>	<b>2,256,745</b>



## 会社概要

(2012年3月31日現在)

商号	フィンテック グローバル株式会社
設立	1994年12月7日
資本金	23億1,251万7,793円
従業員数	連結66名、単体15名(臨時従業員、派遣社員を除く)
金融商品取引業登録	第二種金融商品取引業、投資助言・代理業

(2012年4月2日現在)

役員	代表取締役社長 玉井 信光	常勤監査役 二宮 幸一
	取締役会長 ロバート・ハースト	監査役 西川 茂樹
	取締役 鷺本 晴吾	監査役 萩原 啓史
	取締役 三橋 透	
	取締役 山中 秀介	

## 経営陣 (2012年4月2日現在)

### 取締役

#### 玉井 信光 代表取締役社長

オリックス(株)にて航空機ファイナンスをはじめとするストラクチャードファイナンス手法を用いた金融商品の企画販売業務を担当。その後、保険関連事業の策定・展開、リスクファイナンスや保険をベースとしたプロジェクトファイナンスのアレンジ等を手掛ける。新しいインベストメントバンキング形態を目指し、1994年当社を設立。



#### ロバート・ハースト 取締役会長

FGIキャピタル・パートナーズ(株)代表取締役社長

バンカーストラスト、International Finance Corporation(米国)、Citibank NA(日本)にて、デリバティブ、ストラクチャードファイナンスのプロフェッショナルとして活躍。AIG Financial Products Corp.においては、取締役として日本及びアジアにおけるビジネスを統括。Bank AIG (Securities) 駐日代表等を経て、2004年6月フィンテックパートナーズ(株)(現フィンテックグローバル証券(株))入社。同社代表取締役会長等を経て、2007年12月当社取締役会長に就任。



#### 鷺本 晴吾 取締役 執行役員 経営管理部長

(株)富士銀行(現(株)みずほ銀行)にて支店長等を歴任。その後、同行審査部、資産監査部において与信審査及び資産監査業務に従事。2004年8月丸善(株)入社、その後、執行役員財務統括センター長に就任。2007年9月より当社管理本部財務部長として財務・経理業務を所管。2009年4月当社執行役員 財務部長、2009年12月当社取締役に就任。



#### 三橋 透 取締役 フィンテック アセットマネジメント(株)代表取締役社長

(株)三和銀行(現(株)三菱東京UFJ銀行)においてニューヨーク支店、東京法人営業第四部で法人営業を担当。その後、新宿新都心法人営業第一部にて、大企業を担当する部門を統括。2007年2月、当社入社。同年3月に投資銀行本部ストラクチャードファイナンス営業第二部長、2009年4月、当社執行役員 投資銀行本部副本部長。2009年12月当社取締役に就任。2012年4月フィンテックアセットマネジメント(株)代表取締役社長に就任。



#### 山中 秀介 取締役 上席執行役員 グループ事業開発本部長

オリックス(株)において、主に近畿圏で国内企業向けリース営業を経た後、1994年から5年半の 아일랜드法人勤務を含め、約18年間一貫して航空機リース事業に従事し、アイルランド法人取締役、オリックス・エアクラフト(株)の代表取締役社長、オリックス(株)の航空事業グループ長を歴任。マーケットを先取りし、格安航空会社との取引拡大を推進するなどして、航空分野をオリックス海外事業の柱の一つに育て上げる。2011年12月当社取締役に就任。



### 執行役員

#### 廖 維舟 執行役員 グループ事業開発本部 国際事業部 事業部長

(株)三和銀行(現(株)三菱東京UFJ銀行)国際業務部、ニューヨーク支店を経て、ロンドン支店にて数々の海外大手企業向けシンジケーションローン案件、MBO案件を手掛ける。2002年より東京ストラクチャードファイナンス部にて航空機ファイナンス等の与信管理を担当。2004年12月、当社入社。2009年4月当社執行役員に就任。



#### 渡邊 基樹 執行役員 グループ事業開発本部 プリンシパル インベストメント事業部 事業部長

(株)あさひ銀行(現(株)りそな銀行)において融資・渉外業務を担当後、本店ALM(Asset Liability Management)部で短期金融市場を通じた資金ポジション管理業務に従事。2005年当社入社後、投資銀行本部において一貫してストラクチャードファイナンスの組成業務並びにプリンシパル投資業務を担当。2008年1月当社投資銀行本部ストラクチャードファイナンス営業第一部長、2009年4月当社投資銀行本部部長、2010年10月フィンテックアセットマネジメント(株)代表取締役、2011年7月当社執行役員に就任。



#### 千田 高 執行役員 事業統括部長

東邦生命保険(相)(現シヅカ生命保険(株))において、全国各所に営業所長を歴任。2004年に当社入社後、2008年4月人事総務部長、2011年2月事業統括部長として、総務、人事、経営企画業務に従事。2011年7月当社執行役員に就任。



### 主要グループ子会社

#### フィンテック グローバル証券(株)代表取締役社長

#### 森上 克典

オリックス(株)にて国内企業向けリース営業、不動産ファイナンス業務及びストラクチャードファイナンス業務を手掛ける。2006年10月に当社事業統括部長として入社。投資銀行本部副本部長等を経て、2009年4月当社執行役員に就任。2010年2月(株)パブリック・マネジメント・コンサルティング代表取締役社長、2012年4月フィンテックグローバル証券(株)代表取締役社長に就任。



#### (株)パブリック・マネジメント・コンサルティング代表取締役社長

#### 笹田 潔

安田火災海上保険(株)(現(株)損害保険ジャパン)入社後、同社の戦略子会社であるアイ・エヌ・エイ生命保険(株)、安田火災シグナ証券(株)に出向し営業所長等を歴任。2007年1月に当社投資銀行本部シニアバイスプレジデントとして入社。2009年10月、(株)パブリック・マネジメント・コンサルティングに転籍、執行役員に就任。2012年4月同社代表取締役社長に就任。



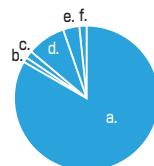
## 主なグループ子会社 (2012年3月31日現在)

<b>投資銀行事業</b>		
フィンテック グローバル証券株式会社	設立	2004年6月
	資本金	2億879万2,981円
	事業内容	ファイナンスアレンジメント・アドバイザリー エグゼクティブ業務受託 証券業務 (第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業)
<b>アセットマネジメント事業</b>		
フィンテックアセットマネジメント株式会社	設立	2005年12月
	資本金	5,000万円
	事業内容	アセット・マネジメント業務 フィナンシャル・アドバイザリー業務 経営コンサルティング業務 (投資助言・代理業、投資運用業)
FGIキャピタル・パートナーズ株式会社	設立	2009年3月
	資本金	1億円
	事業内容	ヘッジファンド、ベンチャー投資運用 (投資助言・代理業、投資運用業)
<b>その他投資先事業</b>		
株式会社ベルス	業務開始日	2007年12月
	資本金	667万円
	事業内容	職域福利厚生サービス、 不動産売買・賃貸・管理の紹介・斡旋
Crane Reinsurance Limited	設立	2006年3月
	資本金	15億円
	事業内容	再保険引受
<b>公共財関連事業</b>		
株式会社パブリック・マネジメント・コンサルティング	設立	2008年2月
	資本金	2億1,402万5,000円
	事業内容	公会計用ソフトウェアの開発・販売・ コンサルティング 公共ファイナンス事業
株式会社公共ファイナンス研究所	設立	2009年6月
	資本金	5,000万円
	事業内容	公共ファイナンス等に関する調査・研究、 コンサルティング、出版・情報サービス
<b>その他関連会社</b>		
フィンテック グローバルキャピタル合同会社	設立	2006年9月
	事業内容	ベンチャーキャピタルファンドに対する アドバイザリー業務 (投資助言・代理業)
フィンテック グローバル鑑定株式会社	業務開始日	2009年4月
	資本金	2,000万円
	事業内容	不動産の鑑定評価
フィンテックキャピタルリスクリゾリューションズ株式会社	設立	2001年4月
	資本金	5,000万円
	事業内容	信用補完案件の組成、アレンジメント

## 株式の状況 (2012年3月31日現在)

発行可能株式総数	3,084,000株		
発行済株式の総数	1,209,243株		
株主数	11,161名		
	株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
大株主 (上位10名)	1. 玉井信光	240,955	19.93
	2. 藤井優子	52,014	4.30
	3. SIX SIS LTD. (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	41,268	3.41
	4. 青島正章	35,325	2.92
	5. 関東財務局	20,001	1.65
	6. CREDIT SUISSE AG FORMERLY CLARIDEN LEU AG (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	17,800	1.47
	7. FGIキャピタル・パートナーズ株式会社	17,400	1.44
	8. 平野修	14,364	1.19
	9. ロバート・ハースト	12,650	1.05
	10. 田村直丈	12,200	1.01

株式分布状況 (所有者別)	持株数 (株)	持株比率 (%)
a. 個人・その他	1,010,778	83.59
b. 金融機関	10,692	0.88
c. 金融商品取引業者	20,172	1.67
d. 外国人	105,686	8.74
e. その他国内法人	41,914	3.47
f. 政府及び地方公共団体	20,001	1.65



## 株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	12月
基準日	9月30日
中間配当基準日	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ市場(証券コード: 8789)
公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	<a href="http://www.fgi.co.jp/japanese/ir/download.html#denshi">http://www.fgi.co.jp/japanese/ir/download.html#denshi</a>
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
郵便物送付先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土日祝日を除く)

フィンテック グローバル株式会社

<http://www.fgi.co.jp/>

本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28  
虎ノ門タワーズオフィス 19F  
Tel. 03-5733-2121 (代表)  
Fax.03-5733-2124